

# TIATF '89

FAREWELL PARTY



富山国際青年演劇祭'89

特集 / 21世紀への新しい計画にあなたの意見を——  
 こんなに実現しました。富山県民総合計画

TOYAMA PREFECTURAL REPORT

県広報

とやま

1989  
 No.248

9

# やさしさとおもしろいを伝えたい。

## 童話『飛べないホタル』作者・小沢昭巳さん

「三十年も前のものが今頃話題になるなんて本当に奇跡的。そして、この本が今の子どもたちにもわかってもらえるなんて。これも奇跡的なことですね」と語ってくれる小沢昭巳さん。今、話題の童話『飛べないホタル』の作者です。

もともと、『飛べないホタル』は小沢さんが小学校六年生の担任のとき学級新聞の先生のコーナーに書いたもので羽がはえそろうず、飛べないホタルが仲間ホタルに助けられ、その友情に感謝するという物語。いじめが大きな社会問題になった二年前に、先生方や当時の生徒ら、父兄たちの要望があった一冊の本にまとめられた。

「当時、私の受けもちのクラスに足の不自由な子がいて、みんなからかわれていました。そこで、みんななじみの深いホタルをモデルに、いじめについて考えてもらおうと思ったのがきっかけです。その時は、この本を読んでいじめはなくなったようです」

小沢さん自身もいじめられた経験があるとか。そういう経験をふまえているだけにいじめられる側の悲しい気持ちをせつせつと訴える文章には心打つものがある。それだけに、時代を超えて今の子どもたちにも大きな共感を呼んで、いじめはやんだ。そしてこの本も各種マスコミに取り上げられ、N・T・Tのサービスダイヤルでは七万回、本の売り上げも六万五千部を超えるに至った。

「この本が目ざされ、いじめをなくそうという動きがあるという事はたいへん良いことです。だって昔はいじめをみんなで考えようという事はなかったのですから」

子供たちに大きな感動を与えた『飛べないホタル』。子供たちに明るい光りをもとめてくれた。



# 野いちご

富山県俳句連盟会長 黒田晩穂

その草の名は「ふゆいちご」、名前が語るように、冬に実をつける自生のいちご。少し説明するなら、山地の木蔭などに生ずる常緑の蔓性小灌木で、茎は直立したり、横斜したりする。葉は円心臓形で浅く裂け、六・七月ごろに葉のつけねに白色の五弁の花を開き、冬、実が赤く熟れて食べられる。といったもの。野いちごの一種である。

本来、いちごは山野に自生するもので

富山平野、そして、丘陵地帯で多くみることが出来る品種である。ただ前述のように多くは雑木の林などに育ち、しかも初冬の草枯れの尽きたころに実をつけるといった性質の故か、見忘れられてきたものようである。

ところで、どんなものでも題材として見逃さない俳句界ではあるが、「ふゆいちご」を詠う俳人は多くなく、特に富山人には少ない。これは、「ふゆいちご」の実

あるが、今日店頭に並ぶ大粒の甘いいちごも、自生種の改良を重ねたものに他ならない。野いちごには種類が多く、効外を歩いて少々注意してみるなら、草いちごの類そして木いちごの類を足許に気づく筈である。

夏から初秋にかけて、赤、或いは黄に近い熟実をつけるが、その殆どは無害である。子供のころに川遊びをする場合に、土堤の木苺をとってむさぼり食べた記憶は、筆者に限らず思い出す方も多いと思うのだが、例の「へびいちご」などは実は毒いちごではなく、あらぬ冤罪を被せられ、いちごに取っても心外であるに違いない。

「ふゆいちご」に戻るが、このいちごも、

の熟れるのは初冬であり、その自生の場所が林や山地といった足許のよくない時節のために見過ごされてきたからであろう。

しかしながら、しょうしようたる枯風景の中、或いは薄雪の冠る林の中に、ルビー色に輝く幾粒もの熟実に一度出会うときから、忘れ得ぬ世界を知ることになるのは間違いない。

「ふゆいちご」（かんいちごともいう）は、武蔵野にも多いと聞くが、富山のこれは雪国故にその趣きを異にするのである。

冬いちごぎりぎりに日の燃えいでぬ  
金尾梅の門  
日あるうち光り蓄めおけ冬苺  
角川 源義



# 富山国際青年演劇祭開催

世界から富山へ



世界三十一カ国のアマチュア演劇人が集う「富山国際青年演劇祭」(TIAF'89)が七月三十一日から七日間開催。熱気と刺激に満ちた舞台公演を中心にシンポジウム、ワークショップなど多彩なプログラムが展開されました。

演劇では、ゴールドアワード(最優秀賞)を受賞したフィンランドのラップランド学生劇団をはじめ各国劇団が熱演、観客を魅了しました。最終日には、表彰式、お別れパーティが催され、トロフィーを手渡された各国代表は、ステージで跳び上がり、受賞の喜びを体いっぱい表現。会場から祝福の拍手を浴びていました。それに続くパーティでは、演劇祭の開催に貢献したイギリスのラウグロブ氏ら三人に知事から「とやま名誉大使」の称号が贈られ、会場はお祭りムードいっぱい盛況がりました。



# 立山から世界へ情報発信 立山高原ホテルオープン



ホテル増収未竣



七月十八日、昭和六十二年九月からの増改築工事を終えた立山高原ホテルが新装オープン。鉄筋コンクリート造延べ床面積二千八百六十八平方メートル、地上四階地下一階、二十九の宿泊室を備えたホテルに生まれ変わりました。

主な増築部分は、地下の百人収容の研修会議室で、ビデオ・各種映写機や同時通訳設備を設置。併せて、ロビーを拡充し、七二インチビデオプロジェクターを備えつけた他、食堂も百二十席に増やすなど、標高二四〇〇メートルでの国際会議開催も可能なホテルとなりました。

この日は、ホテルでオープン記念セレモニーを行い、知事をはじめ、評論家の竹村健一氏が参加。立山から世界へ、新しくなった情報発信基地の誕生を祝いました。

# 富山ー東京がますます便利に 全日空東京便が増便



富山空港の全日空・富山ー東京便が一日五往復から六往復に増便され、その初就航の七月二十二日、富山空港ターミナルビル二階ロビーで記念式典が行われました。

式典では、県知事代理の増山土木部次長が「増便は利用客の利便性を高めるほか、県の産業経済発展に大きなインパクトを与えるなど、大変意義深い。今後は夜間駐機、コミューター航空、大阪便の就航などを着実に実現したい」とあいさつ。続いて運輸省や、経済界代表らが祝辞を述べました。

このあと、ミス富山おらっちゃ祭りらが第二便の機長とスチュワーデスに花束を贈呈。同便の塔乗客二百三十四人に記念品として高岡銅器の風鈴が手渡されました。

富山ー東京便の利用は順調で、昭和五十九年のジェット化以来、塔乗客数は毎年一〇%の伸びを示し、利用率も七〇%以上となっています。今回の増便により、年間の総座席数は百万席を超えることになり、富山ー東京間はますます便利になります。



# 日米学生会議、日本海側で初のフォーラム

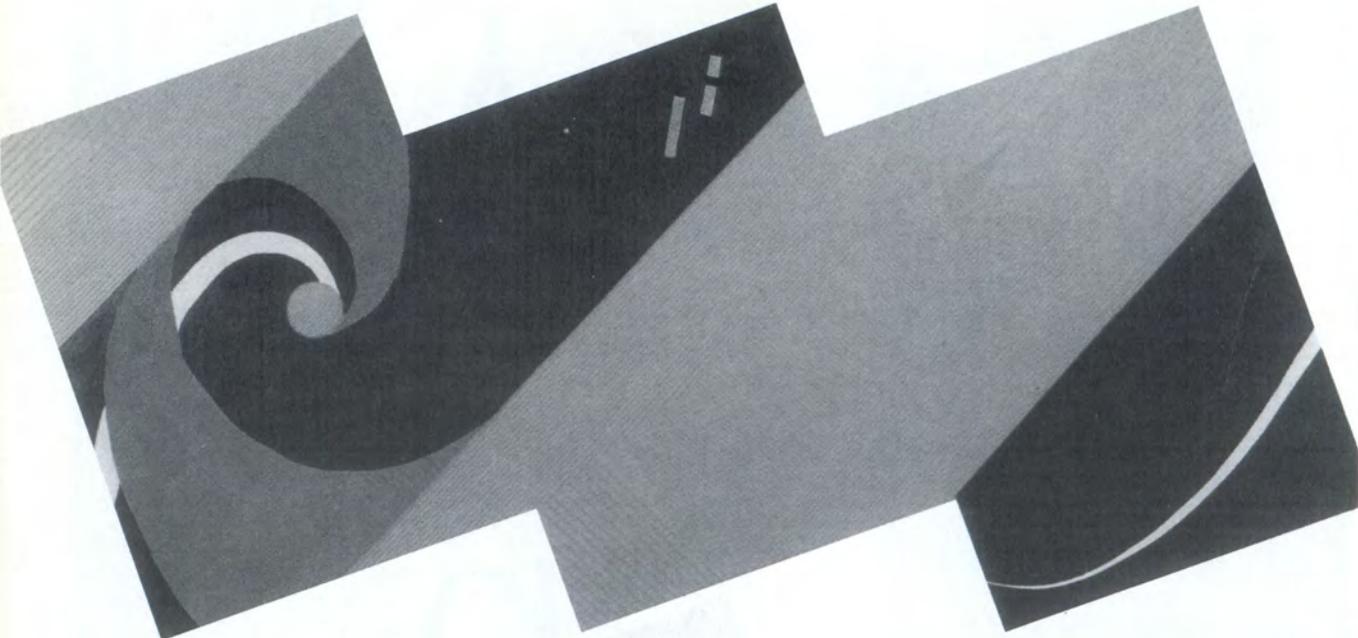


日米両国学生の率直な意見交換を通じて相互の理解、信頼、友情の促進をはかることを目的に八月五日、日米学生会議が開催されました。この会議は日米の学生それぞれ四十名が参加し、分科会討論、ホームステイ、フォーラム、野外研修などを行うことにより、幅広い分野にわたる日米両国の現状及び将来を研究していくものです。

今年で四十一回を迎える日米学生会議ですが、日本海側でフォーラムが開催されるのは初めてとあって、会場となった県民会館国際会議場は熱気に溢れました。特に今回は貿易問題がテーマとなり、富山県にも関係の深い米の自由化について取り上げられました。

まず、吉村県農業水産部次長、山田全国農協中央会水田農業対策部課長、嘉田京大助教授が講演し米の自由化に反対する理由をそれぞれの角度から解説しました。この後の質疑応答・全体討論では、日米双方の学生からたくさんの質問が出て、活発な討論が行われました。

フォーラム終了後、学生達は農家でのホームステイ、利賀フェスティバル・富山国際青年演劇祭の観劇などを楽しみ、友好を深めました。



# 21世紀への新しい計画に あなたの意見を

## こんなに実現しました、 富山県民総合計画



こんなに実現しました、富山県民総合計画。

県では、昭和五十八年に富山県民総合計画を策定し、全県民の参加と連帯の下に、「活力にあふれ、発展する富山 温かい心に満ちた美しいふるさと」ともに生きることに喜びと誇りを感じる富山の実現を目指して、「明日を拓く人づくり」、「魅力ある郷土づくり」、「活力ある産業づくり」の三つの施策を積極的に展開してきました。

### 新しい県民総合計画に対する あなたのご意見・ご要望を！

間近かにせまる二十一世紀に向かって、本県の一層の飛躍を図るための指針となる平成三年度から平成十二年度(西暦二千年度)までの十年間の新しい県民総合計画の策定に取り組んでいます。新しい県民総合計画に対する皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。  
なお、形式は一切問いませんので、どうぞお気軽にお寄せ下さい。

◎ご意見・ご要望の提出先及びお問い合わせ先  
富山県企画民部企画調整室総合計画班  
千九三〇 富山市新総曲輪一番七号  
☎(0764)311-4111 (内線333、334)



# 明日を拓く 人づくり



明日のふるさとづくりは、人を大切にすることから始まります。

●施策の体系

健康づくり

すべての県民が、生涯を通じて心身ともに健康な生活を送れることをめざしています。

福祉の充実

家庭、地域社会、施設の三者が一体となった地域総合福祉を推進し、福祉の充実を図ることをめざしています。

生涯学習の推進

いつでも、どこでも、だれでも学ぶことのできる開かれた学習社会の基盤づくりを進めています。

文化の県づくり

地域に根ざした水準の高い文化の創造を進めています。

若者と婦人の力を社会に

若者の交流、定着を促すとともに、婦人の力が十分に発揮できる社会的条件の整備を進めています。



▲県民公園太閤山ランドの開園(58.7)



▲国立高岡短期大学の開学(58.10)



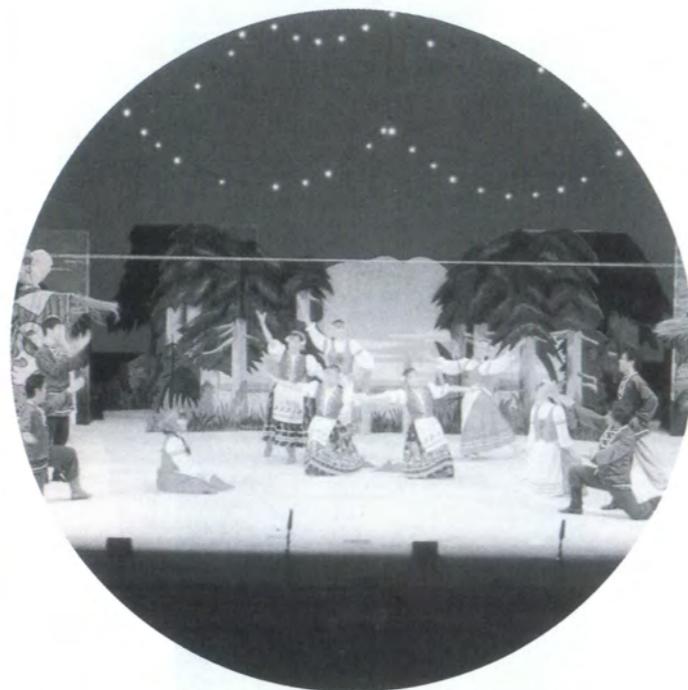
▲総合体育センターの開館(59.6)



▲県情報教育センターの開所(59.10)



▲高志リハビリテーション病院の開院(59.10)



▲富山県高岡文化ホールの開館(61.10)



▲空港スポーツ緑地の開園(62.4)



▲40メートル級スキージャンプ場の竣工(63.7)

主な事業成果

- 県民公園 太閤山ランド・新港の森の開園(58.7)
- にっぽん新世紀博覧会開幕(58.7)
- 国立立山少年自然の家の開所(58.9)
- 第1回国際アマチュア演劇祭(58.9)
- 国立高岡短期大学の開学(58.10)
- 総合体育センターの開館(59.6)
- 県情報教育センターの開所(59.10)
- 高志リハビリテーション病院の開院(59.10)
- 生涯スポーツプランの策定(60.8)
- クレー射撃場の竣工(60.8)
- 富山県高岡文化ホールの開館(61.10)
- 救急医療情報システムの稼働(62.2)
- 県民ヘルスプランの策定(62.3)
- 21世紀をめざすとやま女性プランの策定(62.3)
- 空港スポーツ緑地の開園(62.4)
- 総合体育センター研修棟・中体育館の開館(62.10)
- 2000年国体の開催が事実上内定(63.3)
- 県立新生園の竣工(63.5)
- 40メートル級スキージャンプ場、ライフル射撃場の竣工(63.7)
- 高齢者総合相談センターの開所(63.7)
- 常願寺川公園の完成(63.9)
- 総合運動公園の建設工事着手(63.10)
- 富山県民生涯学習カレッジ開学(63.10)
- 県立大学起工式(63.12)

主な事業成果

- 21世紀の森の開園(58.4)
- 富山新空港の開港(59.3)
- 中国遼寧省との友好県省締結(59.5)
- グリーンプランの策定(60.2)
- 総合雪対策条例の制定(60.3)
- 熊野川ダムの竣工(60.3)
- ブラジル・サンパウロ州との友好県州締結(60.7)
- 上市川第2ダムの竣工(60.9)
- 第1回富山県育樹祭の開催(60.10)
- 県民公園野鳥の園の開園(60.10)
- 交通安全博物館の開館(61.5)
- 伏木富山港の特定重要港湾の指定(61.6)
- 樺平ビジターセンターの開館(62.5)
- 有峰ビジターセンターの開館(62.6)
- 富山空港運用時間の延長(62.7)
- 県国際文化センターの開館(62.9)
- 小矢部川流域下水道一部供用開始(63.3)
- 東海北陸自動車道の起工(63.6)
- 北陸自動車道の全線開通(63.7)
- 富山港岩瀬船だまりの開港(63.8)
- 北陸新幹線の着工優先順位の決定(63.8)
- 国際交流奨学金等支給事業の創設(63.12)
- 「海王丸」誘致決定(平1.3)



▲ブラジル・サンパウロ州との友好県州締結(60.7)



▲第1回富山県育樹祭の開催(60.10)



▲「海王丸」誘致決定(1.3)



▲小矢部川流域下水道一部供用開始(63.3)



▲北陸自動車道の全線開通(63.7)



▲富山新空港の開港(59.3)



▲中国遼寧省との友好県省締結(59.5)



▲総合雪対策条例の制定(60.3)

活の基礎づくりです。快適なふるさとづくりは、新しい県民生

# 魅力ある郷土づくり



●施策の体系

心ふれあう快適な暮らしの実現

明るく温かい家庭やコミュニティづくりとともに、快適でうるおいのある生活環境の整備を進めています。

魅力ある地域づくり

新しい時代に即応した魅力ある都市の形成と豊かな農山漁村づくりを進めています。

生活基盤の整備

住環境、上下水道等の整備とともに、豊かで美しい自然環境や県土の保全を進めています。

総合交通体系の整備

高速交通網、生活道路網の整備とともに公共交通機関の確保や交通安全対策を進めています。

国際化時代への対応

国際化の進展に対応し、その基盤整備や世界各国との経済、文化交流を進めています。

主な事業成果

- 富山いきいき観光キャンペーンのスタート(58.4)
- 高岡地域地場産業センターの開館(58.4)
- 富山産業展示館の開館(58.9)
- 食品研究所の開所(58.9)
- 富山八尾中核工業団地・小杉流通業務団地の分譲開始(58.10)
- 富山技術開発財団の設置(58.12)
- 富山テクノポリス開発計画の国承認(59.3)
- 富山技術交流センターの竣工(60.5)
- 小川さけ・ますふ化場の竣工(60.6)
- 農業技術センター果樹試験場の竣工(60.10)
- 薬事研究所の移転開所(60.10)
- 木材利用普及センターの開館(61.5)
- 工業技術センター中央研究所の竣工(61.7)
- パートバンクの設置(61.10)
- いきいき富山冬の旅観光キャンペーンの開始(61.12)
- 花総合センターの開館(62.4)
- 薬用植物指導センターの竣工(62.7)
- 新湊漁港(東地区)の開港(62.7)
- 県技術専門学院の竣工(63.4)
- 富山大学地域共同研究センターの竣工(63.5)
- インダストリアル・デザインセンターの開所(63.7)
- 頭脳立地法に基づく集積促進計画の承認(平1.3)



▲工業技術センター中央研究所の竣工(61.7)



▲花総合センターの開館(62.4)



▲新湊漁港(東地区)の開港(62.7)



▲インダストリアルデザインセンターの開所(63.7)



▲県技術専門学院の竣工(63.4)



▲高岡地域地場産業センターの開館(58.4)



▲富山いきいき観光キャンペーン(58.4~)



▲富山産業展示館の開館(58.9)

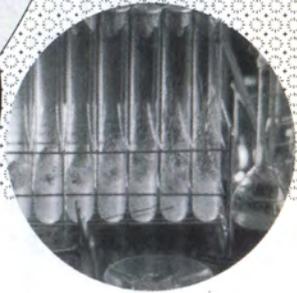


▲富山八尾中核工業団地分譲開始(58.10)

豊かなふるさとづくりは、  
産業によって実現されます。  
活力あふれる

# 産業づくり

活力ある



● 施策の体系

技術立県

創造性に富む人材を育てるとともに、技術革新の動向に積極的に対応していくための環境条件の整備を進めています。

農林水産業の振興

本県産業の基礎的部門として、厳しい環境をはね返して発展する足腰の強い産業体質づくりを進めています。

創造性豊かな工業の育成

需要動向に適切に、力強く成長する質の高い工業集積の形成を進めています。

第三次産業の振興

楽しい商店街の形成や新しい需要にこたえるサービス供給体制の確立を進めています。

雇用の安定

高齢者、身障者等の雇用機会の確保や生涯職業能力開発体制の整備、若者のUターン対策を進めています。



大地を響かせ  
緑を切つて  
積み重ねた技を競う



全身汗して  
果敢な鉄人ランナーの  
闘志は燃える



トライアスロン  
PIN-UP TOYAMA 撮影/池端 滋

# 農産・園芸のノウハウ なんでもお尋ね下さい

レポーター：山本勝美さん(富山市)



おいしくて安い米づくりは、私達消費者の願いですね。  
園芸の相談や情報を提供してくれる「エレガガーデン」に行ってみませんか。  
私達の生活に潤いと安らぎを与えてくれる花の写真を満載した「花の路とやま」をご覧ください。ありましたか？  
農産園芸課は、米や野菜、花などの生産振興に取り組んでいます。

## おい、おい、富山のお米

山本●米づくりについてはどのようなことをなさっていますか。

「豊かな水と意欲(こころ)でつくろうまい富山米」をスローガンに、「低コストの米づくり」、「質の良い米づくり」、「たくましい稲づくり」を進め、コシヒカリを中心に品質がよく、おいしい富山米の供給に努めています。

特に、味の良いコシヒカリの作付は、全体の六割



にあたる三万ヘクタールを目標に取り組んでいるところです。



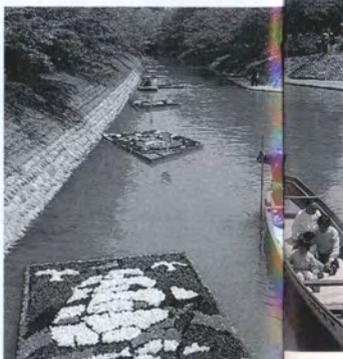
## 「日本一の花と緑の県づくり」のイメージ

山本●砺波市にある「エレガガーデン」では、どういふことをしているのですか。

「エレガガーデン」は、県がめざしている「日本一の花と緑の県づくり」を推進するための拠点として設置されたもので、ここでは、花の生産者の技術指導や富山県に適する花の栽培実験などを行っています。

また、一般の人を対象にした園芸の研修も行っており、草花の栽培、盆栽、花の装飾技術を学ぶコースなどを開いています。

また季節の花を生活の中に取りこむために、球根まつり・紫陽花まつり等、花に親しむ心を養っていただく集いを開いています。



## 「花の路とやま」読んでみませんか

山本●身近に花に親しめる所があるといいですね。

県では、「花の路とやま」という本を発行しましたが、これを見ると、どんな場所にどんな花が咲くのがよく分かります。花を通して富山のくらしや自然、歴史、文化が理解できて、とても親しみやすい本になっています。

山本●「花の路とやま」の写真をながめるととってもきれいな花がたくさんありますが、人工じゃなくて豊かな自然の中に咲いているのですね。

富山は、海拔ゼロから三千メートルまであつて



地形的に恵まれているので、花の種類がとても豊富です。この恵まれた自然を活かして、多くの人に花を育てようという心を持っていただきたいと願っています。この本は、学校や市町村、図書館、公民館に配置されています。富山の文化の高さを感じられ



ると評判です。

山本●チューリップは県花ですが、種類はどのくらいありますか。

約九〇〇種あります。このうち出荷しているものは三五〇種です。花の種類が多く品質もいと評価されています。

山本●富山の気候が花の生育に適しているのですね。今日は、おいしい米づくりや園芸の話を変興味深く聞かせていただきました。「花の路とやま」を見ると色とりどりの花や美しい景色に心を引きつけられます。皆さんにもぜひ読んでいただきたいですね。



ふるさと  
みてある記

# 細入村

細入村は神通川上流、左岸沿いの南北に長い村。細入村の神通川一帯は春の新緑や秋の紅葉が美しく、神通峡県定公園に指定されている。

神通川第二ダムのダム湖では、規則正しいピッチで、水面を滑走するボートの練習風景が見られる。そこには、社会人や高校生の中に混じって中学生の姿もある。県内の中学校の中で唯一の檜原中学校ボート部。歴史は新しいが成績

## ボート王国富山の明日を担う

### 檜原中学校ボート部



は優秀。今年の全国大会で男子はオーシャンスカル三位、女子はシングルスカル二位となり、昨年は女子が総合優勝している。「神通第二ダムでは高校生や大学生が練習しているの、その練習を見るだけでも勉強になると思います。オリンピック選手の坂田さんもいますから、いい刺激になりますね」と顧問の有須先生。



たつたの十人。全国大会には百を超えるチームが参加し、部員が八〇人もいる学校もあるという。「部員が少なくても多くの種目に出場できないので、総合優勝は難しいんですよ。昨年は本当に幸運でした」と話すが、毎年の入賞は厳しい練習あつてこそのことだ。

「冬はスキーを使って基礎体力をつけます。バランスと持久力のいいトレーニングになります。」しかし、全国大会は年に一回。「県内にライバルが一枚もない中で闘志を持続するというのは

精神的にきついなと思いますよ。こうした有須先生の指導のもと、心身ともにたくましく鍛えられた生徒たちは、毎年好成績を収めている。富山県で開かれる二〇〇〇年国体においての大活躍が期待される。

## 細入村の花咲じいさん



国道四十一号線を富山市から南に向い、笹津橋をわたって細入村へ入ると、ガードレールの下に色鮮やかな花々が咲き誇る。「ガードレールができた時に少し余った場所があつたんで、そこに花を植えたがやちや」と野尻松之助さん(82)。昭和五十七年から毎年道路脇に花を咲かせている。「許可なくかかってに植えとつたから、叱られるかと思たら逆にほめられてね。びっくりしたちや。家には、花と緑の銀行を始めとして、建設省、道路協会、細入村などからの表彰状・感

細入村の概要  
人口 2,451人 (7月1日現在)  
面積 39.72km<sup>2</sup>

富山県の南の玄関口細入村。神通川左岸に位置し、自然の景勝神通峡県定公園を中心とした観光とレクリエーションの地。猪谷関所館のオープンや関所碑を通して神通峡を眺める遊歩道の設置など、新しい観光拠点づくりが着々と進んでいる。



花の列は約五百メートルも続く。「小さな花だと雑草に負けてしまうから、立葵とかアメリカ芙蓉とか大きな花を使う。全部で何本植えるかはつきりわからんけど、数千本はあるがないかね。最近では、建設省や役場から種や肥料を提供してもらえるようになった。」

謝状がずらりと並ぶ。「賞状もろたらやめられんようになるわ。それに、もつと立派なものにせんにやならんという気持ちになるしね。」

野尻さんは花を植えるだけでなく、道路の清掃、天皇お手植えの杉の世話も十三年間続けている。「花が好きだからやとるだけ。仕事やめてからは、これが生きがいみたいなんもんだわ。逆に興味のない人にすれば、くだらんことしてるように見えるやろね。」

昭和五十七年、特産の里に指定されたのを機に組合を設立。それまで減りつつあつた生産量にストップをかけた。「らつきようの草丈は短くて日当たりいいもんだから、次々と雑草が生えてくるがやちや。らつきよう作りで、草刈りが一番手間かかるわ。組合が最初に手がけたのは草刈り機の導入という。「米作りでさえ後継ぎおらんがだから、らつきようはなおさらやちや。だから畑の拡大はできんし、せめて組合で面積当たりの収量を増加する研究しようと思てるがやちや。」



## 形は不揃いでも味は一級品

### 神通峡のらつきよう

細入村の特産らつきよう。大正末期から生産が始まり、現在では県内生産量の約二〇パーセントを占める。「この辺りは水の便が悪くて、昔から水田より畑の方が多かったがやちや。赤土がかった酸性の土壌もらつきように合つとるがみただわ」と細入村らつきよう生産組合長の金田孝市さん(60)。

八十二歳の高齢とは思えないほど元気な野尻さんは、いつもきれいな花を咲かせるため毎日がんばっている。



一方、村では「らつきようクッキング」という小冊子を作り、天ぷら、ごま和え、サラダなどいろいろな料理方法を紹介している。「わしは天ぷらが一番好きだわ。らつきようの臭いもせんし、ビールのおかず最高だわ」と金田さん。

七月九日、村制百周年記念式典とあわせて「らつきよう祭り」が盛大に行われ、らつきよう掘りをする親子連れでにぎわつた。また、十一月には「細入まつり」で、らつきよう料理がふるまわれる予定である。「形が大きく、シャキッとした歯ごたえのある」神通峡のらつきよう。いろいろな料理に使われ一皮も二皮もむけて、らつきようのイメージを変えつつあるようだ。

明るい長寿社会を目指して

# 「いきいき長寿財団」 の設立



我が国は先進諸国の中でも最も早いペースで人口の高齢化が進んでおり、二十一世紀には、四人に一人が六十五歳以上という超高齢社会が到来するものと見込まれています。

富山県の場合は、全国平均よりもさらに七、八年早く高齢化が進んでいます。

人口の高齢化は、今後、個人の生活設計はもとより福祉、医療、雇用、年金、住宅など社会、経済のあらゆる分野に大きな影響を与えていくものと考えられ、この対応は、ただ単に高齢者だけの問題ではなく、各世代が真剣に取り組むべき課題となっています。

特に二十一世紀に至るここ十年余りの期間が、本格的長寿社会にふさわしい社会システムを構築する期間として、きわめて重要な意味を持っていると言えます。

## いきいき長寿財団の設立

従来から高齢社会対策といえば、寝たきりや痴ほうなど要介護老人に対する事業に重点が置かれがちでした。しかし一方では、健康で充実した老後を送りたい、高齢者が社会の構成員として、その経験や能力を生かし社会に貢献し、生きがいのある生活を送りたいという声が強いことも事実です。

人生八十年時代において、県民誰もが美しく、いきいきと、長生き人生を楽しむことのできる長寿社会を実現することが求められています。

## 財団のおもな事業

財団では、県民の多様なニーズに応えるため、種々の生きがいと健康づくり事業を積極的に推進します。また、市町村レベルにおいては、モデル市町村を設定して、生きがいと健康づくり事業の実践活動を重点的に進めていきます。

### ① イベント開催、啓発普及

各種イベント、広報活動等を通じて、啓発普及に努めるとともに、健康増進や世代交流事業を促進します。

元年度は、健康と長寿の祭典を十月五、六日に県民会館で、長寿社会を考える集いを県下四地区で行います。また、パンフレット、ビデオ、テレビCM、ポスターなどで長寿社会の明るいイメージづくりを進めていきます。

### ② 情報提供

シルバーサービス、コミュニティ、ヘルス、財テク、おしゃれ等の内容を盛り込んだ情報誌を三千部作成。健康でいきいきとしたシルバーライフを応援します。

また、シルバーサー○番を設置し、高齢者やその家族が抱える諸問題に対応していきます。

### ③ シルバーサービスの振興

「高齢者の方々が真に必要なとしているサービスは何か」といったことなどについて、調査研究を行い、今後のシルバーサービスの振興を図ります。

### ④ 社会参加活動の促進

生きがいの充実や社会参加活動を応援するため、教養講座や趣味講座、ふるさと講座、ボランティア講座などを内容とする老人大学を開校します。これは、決められた単位を履修すれば、地域での講習指導者になれる「ふるさと博士」やシニアボランティアリーダーとして登録し、地域活動の指導者として活躍していただくものです。



こうした状況をふまえ、県では市町村や民間企業等の協力を得て、本年七月、いきいき長寿財団を設立しました。この財団はこれからの明るい長寿社会づくりを進めるうえでの基盤となるもので、初年度の運営は、県出資の三千万円でスタートし、平成三年度には基本財産を三億円までに増やす予定です。

活力ある長寿社会を実現していくためには、高齢者の豊かな経験や知識を社会活動に活用できる機会の確保とともに、県民一人ひとりが認識を深め、積極的な取り組みを行うことが大切です。県民の皆さんのご協力をお願いします。

## 1. イベント開催事業

- (1)健康と長寿の祭典開催事業
- (2)長寿社会を考える集い開催事業
- (3)高齢者スポーツ大会開催事業
- (4)全国健康福祉祭参加事業(ねんりんピック)

## 2. 啓発普及事業

- (1)啓発パンフレット作成事業
- (2)啓発普及ビデオ制作事業
- (3)普及広報活動事業

## 3. 情報提供事業

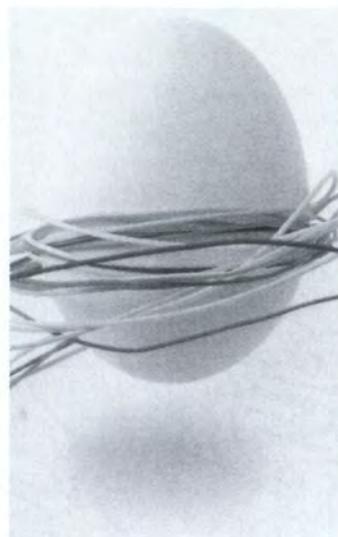
- (1)情報誌発行事業
- (2)高齢者総合相談事業

## 4. シルバーサービス振興事業

## 5. 社会参加活動促進事業

- (1)老人大学開催事業
- (2)社会参加活動促進事業

# 理工系大学志願のみなさんへ 富山県立大学フォーラム'89の開催



平成二年四月に開学予定の富山県立大学は、  
広い視野から科学技術の未来に果敢にチャレンジします。  
このフォーラムは、卓越した専門家による講演を通じて、  
受験生諸君に進路決定についての貴重なヒントやノウハウを得る  
機会にさせていただきました。  
高校生諸君をはじめみなさんの参加をお待ちしています。

日時 平成元年九月三十日(土) 午後二時から  
会場 第一生命ビル 九階ホール  
(富山市桜橋通り二二二十五)

講演

(1) 「科学技術の展望と課題」

石井 威望

(東京大学工学部教授  
中央教育審議会委員  
元臨時教育審議会第一部長)

(2) 「富山県立大学の概要」

藤井 澄二

(富山県立大学創設準備委員会委員長  
元東京大学工学部部長 学長予定者)

(3) 「個性化・多様化の「新」大学入試事情」

富永 倫彦

(旺文社進学時代編集長)

※詳しくは県庁県立大学創設準備室へ



## 〈経営と技術〉国際シンポジウム in TOYAMA'89 参加者募集

■日時 10月5日(木) 13時～6日(金) 18時

■場所 富山第一ホテル、テクノホール他

●費用 2万円

●定員 5百名

国際化時代における技術開発や経営戦略についての講演とディスカッション

※詳しくは県庁経営指導課へ

# 全国下水道促進デー



# 9月10日は、全国下水道促進デー

9月10日は全国下水道促進デーです。その普及率が文化のバロメーターといわれる下水道は、健康で文化的な生活を営み、川や海等の自然環境を守るためには不可欠の施設です。

昭和63年度末における本県の下水道普及率は23%で全国中位。まだまだこれから推進を図る必要のある事業です。今後とも県民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

# ブラボー秋風プラザ

立山山麓のゴンドラスキー場で多彩なイベントが繰り広げられます。

※詳しくは、立山山麓イベント推進実行委員会へ。  
(☎0764・81・1226)

## ファミリーウォーク

三世交代流ファミリーウォーク

- 参加料 大人 三百円  
小人 二百円
- 日時 九月十五日(祝)十時〜

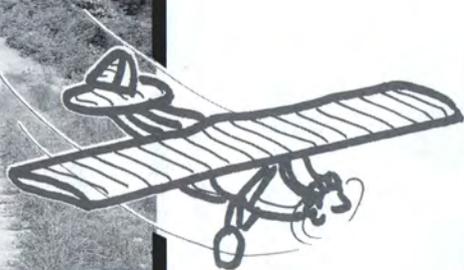
## 模型飛行機競技会

親子で模型飛行機を組み立て飛行距離を競う。

- 参加料 八百円
- 日時 九月十七日(祝) 時〜 時

## パラグライダー関西選手権

- 十月八日(日)〜十日(祝) 九時〜十六時



# 9月23日〜26日は「救急医療週間」 9月26日は「救(0)急(0)の日」

富山県では、休日や夜間の救急患者に対応するため、開業医による在宅当番医制や休日夜間急患センター等を設けています。救急医療は人の生命に関わる大切なものですから、効果的に活用していただくため、次のことにご協力ください。

- 急病の際には、まずかかりつけの医師に相談しましょう。
- 救急車が必要と判断したら、落ちついて一九番にダイヤルしましょう。
- 住所を告げ、さらに目印となる建物などがあれば知らせましょう。
- 病人の状況を的確に説明し、消防署員の指示に従いましょう。
- より重症な救急患者が直ちに利用できるよう、救急車の安易な利用は避けましょう。



▶この「救急医療週間」を契機として、改めて救急医療についてのご理解とご協力をお願いします。

# 少年の主張 富山県大会

県内の中学生約10名が意見を発表します。  
また、中学生の子を持つ親、約3名による「親の主張」も同時に開催します。  
日時 9月22日(金)午後1時30分から  
場所 高岡文化ホール  
※詳しくは、県庁婦人青年課へ

## 第4回 立山山麓 写生コンクール 開催

立山山麓で過ごした楽しい一日  
や自然を絵に書いてみませんか  
応募資格 小学生以下  
受付期間 九月十日(日)〜十月二十日(金)  
参加賞 ゴンドラリフト券と土産品  
受付・場所 立山山麓家族旅行村管  
理事務所  
0764・81・1748  
(画用紙の無償配布、画板の無料貸出も行います。)  
審査 十月三十一日(火)

## 婦人スポーツ大会 参加者募集

競技種目  
ビーチバレーボール(四人制)  
フレスシュテニス(二人制)  
大縄飛び(十二人制)  
日時 十一月五日 時〜 時  
場所 富山県総合体育センター  
※詳しくは、富山県教育委員会体育課へ  
(☎0764・31・6111)

# 県政の動き

7月11日～8月10日

7月11日 富山県いきいき長寿財団設立総会及び記念式典



7月12日 帆船海王丸記念財団設立発起人会  
7月13日 望ましい立山を考える会  
7月14日 第10回婦人大学校  
7月15日 県内在住外国出身者懇談会  
富山県コロンブス計画第8回ティーチイン  
7月18日 立山自然保護センター新装展示更新竣工式



立山高原ホテル増改築竣工式  
7月20日 称名滝見台竣工式  
7月21日 夏の交通安全県民運動交通マナー向上キキャン  
ペン出発式  
第4回現代芸術祭オープニング



7月22日 働く婦人の集い  
富山空港増便就航記念式典  
7月25日 富山県がん対策推進本部会議  
7月26日 富山県産業創造センター起工式



7月28日 とやま名誉大使第2回称号授与式  
第2回富山県国際交流委員会  
7月31日 青少年保護育成審議会  
富山国際青年演劇祭開会式  
8月1日 ヤング創造アドベンチャー開会式  
8月2日 県下消防団消防操法大会  
東洋医学推進懇談会  
8月3日 少年海洋教室開講式  
特産王国とやま推進会議  
8月5日 第3回有峰フェスティバル  
8月10日 道の日街頭啓発

## 県営住宅入居者募集

### 根塚団地

富山市根塚地内

●戸数 二十二戸  
●間取り 2DK、3DK  
(全戸サンルーム付)  
●入居開始 十月十五日(日)  
●募集締切り 九月二十二日(金)  
※詳しくは、青年の山研修館へ



### 富山南団地

富山市小杉地内

●戸数 十二戸  
●間取り 2DK、3DK  
(全戸サンルーム付)  
●入居開始 十一月一日(水)  
●募集締切り 九月二十二日(金)  
※詳しくは、富山県住宅供給公社へ  
☎0764・32・5132

## 平成元年10月街頭献血

| 日  | 曜 | 場 所                  | 時 間         |
|----|---|----------------------|-------------|
| 1  | 日 | 黒部市「メルシー」ショッピングセンター前 | 10:00～15:30 |
| 2  | 月 | 八尾町役場前               | 9:30～13:30  |
|    |   | 八尾町商工会前              | 14:00～15:30 |
| 7  | 土 | 高岡駅前                 | 10:00～15:30 |
| 9  | 月 | 城端町役場前               | 10:00～15:30 |
| 10 | 火 | 富山県民会館前              | 10:00～16:00 |
| 11 | 水 | 庄川町役場前               | 10:00～15:30 |
| 14 | 土 | 富山西武前                | 10:00～16:00 |
| 15 | 日 | 富山西武前                | 10:00～16:00 |
| 16 | 月 | 宇奈月町商工会前             | 10:00～15:30 |
| 18 | 水 | 氷見市役所前               | 10:00～15:30 |
| 21 | 土 | 富山市「アビタ」ショッピングセンター前  | 10:00～16:00 |
| 22 | 日 | 富山市中央通り              | 10:00～16:00 |
| 23 | 月 | 大沢野町役場前              | 9:30～12:00  |
|    |   | 大沢野町図書館前             | 13:00～15:30 |
| 28 | 土 | 高岡駅前                 | 10:00～15:30 |
|    |   | 富山駅前                 | 10:00～16:00 |
| 29 | 日 | 高岡駅前                 | 10:00～15:30 |
|    |   | 福光駅前                 | 10:00～15:30 |
| 30 | 月 | 福岡町役場前               | 9:30～12:00  |
|    |   | 福岡駅前                 | 13:00～15:30 |

## '89チビツ子 とんかち大将 コンクール作品展示



子供たちが創作した作品を一堂展示  
日時 九月二十七日(水)～十月六日(金)  
場所 ウッドリウムとやま  
問合せ ☎0766・56・1570

## 富山県民謡民舞大会

県内に伝承されている民謡民舞を一堂に集め披露。  
日時 九月二十四日(日)十三時～十七時  
場所 平村下梨小学校体育館  
料金 無料  
※詳しくは富山県教育委員会文化課へ

## 第40回 勤美展開催

県下勤労者が制作した美術作品を一堂に展示。  
●部門 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真  
●応募締切 十月三日(火)  
●換入 十月十七日(火)  
●展示 十月十九日(木)～二十二日(日)  
県民会館展示室  
※詳しくは、県庁労政課へ

## '89公募 日本海美術展

日本海沿岸の道府県で制作活動を行っている美術作家を対象にした第二回目の公募展  
期間 九月九日(土)～十月二十二日(日)  
場所 富山県立近代美術館  
料金 一般 七百二十円  
高大生 五百二十円  
小中生 三百十円  
※詳しくは、近代美術館へ  
(☎0764・21・7111)



## 暴力相談日の開設

民事介入暴力集中相談日を開設します。暴力団による被害でお困りの方はお気軽にご相談下さい。  
▶日時 9月9日(土) 午前10時～午後1時  
▶場所 大和富山店、高岡店 ▶料金 無料  
※詳しくは、富山県警察本部捜査第二課へ  
(☎0764・41・2211)

## 婦人美術展

作品集

●部門 日本画、洋画、彫刻、工芸、書  
●展示 十一月十一日(土)～十五日(水)  
県民会館美術館 ギャラリー  
●応募資格 県内在住の二十歳以上の女性  
●換入申込 十一月八日(木) 九時～十五時  
※詳しくは、富山県芸術文化協会へ  
(☎0764・41・8935)



# 作品募集

## 題材

1989年9月1日(金)～1989年10月31日(火)に富山県内で撮ったとやまに関する写真なら、人・物・自然・行事・祭など題材は自由です。

## 応募資格

県内在住の方。もしくは、偶然にも富山県にいたひと。

## 応募作品

4切りまたはワイド4切りプリント(カラー、モノクロを問いません)。おひとり一点に限ります。

## 応募方法

応募票をそえて、富山県カメラ商組合加盟店や、ホスタールの掲示してあるカメラ店が県庁広報課にご持参ください。応募票は、前記カメラ店・市町村窓口・県庁広報課にあります。

## 応募期間

1989年9月1日(金)～10月31日(火)

## 問い合わせ先

富山市新総曲輪1-7 富山県企画県民部広報課  
☎(0764)3114111 (内線504210)

参加作品はすべてデジタル化し、12月1日(金)～12月3日(日)富山県民会館で行われる写真展「ズームアップとやま」で展示します。

応募作品の中から、写真展をこたえになったお客様に、次の賞10点を投票で選んでいただきます。●ほのほの賞●芸術賞●ユニモア賞●シャッターチャンス賞

参加作品は、ハネル付きて12月中旬に応募されたカメラ店を通してお返しいたします。素敵な作品は、県や市町村の広報誌などに使用させて頂く場合もあります。

# ズームアップとやま。

「ズームアップとやま」の4回目がやってきました。そんな日は、「とやまの秋」がテーマです。楽しい秋・美しい秋・やさしい秋・和みの秋など、あなたの腕の見せどころ。ペタリのかたはもちろんです。はじめて応募される人もはりきって撮ってください。どんな「とやまの秋」が撮れるのか、いまからワクワク、ドキドキして待っています。